

AI注文・AI多言語注文システム

4コマでわかる — 使う側（来店客）と 提供する側（店舗）の流れ

初期費用0円／月額11,000円（税込）／3言語版も同額

エンドユーザー目線（来店客）—— ダックスちゃんが「注文する側」。アプリ不要、スマホだけで完結

1 QRを開く



テーブルのQRをLINEで読むだけ。アプリのDLは不要

2 言語を選ぶ



日本語／英語／中国語／韓国語で注文。言語は最後まで保持。

3 追加注文



おかわりも席から。翻訳が無い項目は原文表示で、注文は止まらない。

4 会計する



そのままStripeで支払い。レジに並ばず退店できる。

契約顧客目線（店舗経営者）—— ヨーキー店長が「提供する側」。導入は軽く、現場は順番どおり、入金は分離

1 導入前の悩み



人手が足りない。訪日のお客様の言語対応もつらい...

2 導入する



初期費用0円／月額11,000円。3言語版も同額で、希望店舗だけON。

3 現場が回る



厨房→配膳→会計は順番どおりだけ更新。売切れ・返金・監査は管理画面で。

4 入金される



売上は店舗のStripe口座へ。月額利用料とは別台帳で管理。

新規注文
来店客

受付済み
厨房

調理中
厨房

完成
厨房

配膳済み
配膳

決済待ち
Stripe決済

会計済み
Webhookで確定

安全のしくみ：順番を飛ばす更新は拒否／金額はサーバー側メニュー正本で再計算／署名検証済みStripe Webhookで会計を確定／別店舗は非表示・返金は理由必須＋監査ログ保持